

2016年度

# 東京藝術大学 奏楽堂 モーニング・コンサート Morning Concert



11:00開演 (10:30開場)

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

各回1,000円 (全席自由: 入場整理番号付き)

※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。  
※入場は、入場整理番号順となります。前売券をお持ちの方から先に入場いただきます。

【チケット取り扱い】

前売券

ヴォートル・チケットセンター  
チケットぴあ  
東京文化会館チケットサービス

TEL:03-5355-1280

<http://ticket.votre.co.jp/>

TEL:0570-02-9999

《コード 288-591》<http://t.pia.jp/>

TEL:03-5685-0650

<http://www.t-bunka.jp/ticket/>

※「ヴォートル・チケットセンター」と「チケットぴあ」の入場整理番号については同一管理で付しています。

※購入後の払い戻し・変更等は、一切できません。

当日券

奏楽堂入口券売所 (10:00販売開始)

※前売券の販売実績により、取り扱いが無い場合がありますので、ご承知願います。

※消防署からの指導により、満席の場合には入場できません。

◆主 催：東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター

◆お問い合わせ：東京藝術大学演奏芸術センター 050-5525-2300 東京藝術大学ホームページ：<http://www.geidai.ac.jp/>

# 2016年度 東京藝術大学 奏楽堂 モーニング・コンサート

各回11:00開演 (10:30開場) 東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

各回1,000円 (全席自由: 入場整理番号付き) ※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。  
※入場は、入場整理番号順となります。前売券をお持ちの方から先にご入場いただけます。

## 【チケット取り扱い】

**前売券** ヴォートル・チケットセンター TEL:03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp/>  
 チケットぴあ TEL:0570-02-9999 《Pコード288-591》 <http://t.pia.jp/>  
 東京文化会館チケットサービス TEL:03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket/>  
※「ヴォートル・チケットセンター」と「チケットぴあ」の入場整理番号については同一管理で付しています。  
 ※購入後の払い戻し・変更等は、一切できません。

**当日券** 奏楽堂入口券売所(10:00販売開始)

※前売券の販売実績により、取り扱いが無い場合がありますので、ご承知願います。消防署からの指導により、満席の場合には入場できません。

## ◆管弦楽：藝大フィルハーモニア (東京藝術大学管弦楽研究部)

東京藝術大学が独自の特別企画演奏会として行っているモーニング・コンサートは、作曲・声楽・ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽の各科から選ばれた優秀な学生が、藝大フィルハーモニアとの共演により協奏曲などを演奏するものです。若き学生達の熱い演奏をご期待ください。

| 回数・日程・指揮者                 | 出演者氏名          | 専攻         | 曲 目   |
|---------------------------|----------------|------------|---|
| 第1回 4月28日(木)<br>指揮：高関 健   | 鈴木 崇弘<br>横江 智至 | Trb<br>Pf  | バストロンボーン (チューバ) 協奏曲 (J. ウィリアムズ)<br>ピアノ協奏曲 第1番 ト短調 作品25 (メンデルスゾーン) |
| 第2回 5月12日(木)<br>指揮：現田茂夫   | 中島 夏樹<br>谷口 若菜 | 作曲<br>Pf   | PIXEL for orchestra<br>ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 作品16 (プロコフィエフ)              |
| 第3回 5月19日(木)<br>指揮：澤 和樹   | 大槻 健<br>松浦 恵   | Cb<br>Msop | コントラバス協奏曲 第2番 口短調 (ボッテシーニ)<br>ヴェーゼンドンク歌曲集 (ワーグナー)                 |
| 第4回 5月26日(木)<br>指揮：迫 昭嘉   | 鶴田 麻記<br>千釜有美子 | Trp<br>Pf  | トランペット協奏曲 変ホ長調 (ハイドン)<br>ピアノ協奏曲 第2番 変口長調 作品83 (ブラームス)             |
| 第5回 6月16日(木)<br>指揮：山下一史   | 大橋 征人<br>横山 瑠佳 | 作曲<br>Pf   | I was born<br>ピアノ協奏曲 第2番 変口長調 作品83 (ブラームス)                        |
| 第6回 6月23日(木)<br>指揮：高関 健   | 古谷 拳一<br>有田 朋央 | Fg<br>Va   | ファゴット協奏曲 (フンメル)<br>ヴァイオラ協奏曲 Sz120 (バルトーク)                         |
| 第7回 6月30日(木)<br>指揮：高関 健   | 浦部 雪<br>岡本 誠司  | 作曲<br>Vn   | Expantraction<br>ヴァイオリン協奏曲 二短調 (ハチャトゥリアン)                         |
| 第8回 7月14日(木)<br>指揮：湯浅卓雄   | 八木 瑛子<br>城戸かれん | Fl<br>Vn   | フルート協奏曲 (イベール)<br>ヴァイオリン協奏曲 口短調 作品61 (エルガー)                       |
| 第9回 7月28日(木)<br>指揮：迫 昭嘉   | 田中翔一朗<br>石川 優歌 | 作曲<br>Org  | Seasons for orchestra<br>協奏的交響曲 作品81 (ジョンゲン)                      |
| 第10回 9月8日(木)<br>指揮：梅田俊明   | 高田 慧一<br>桑原 志織 | Bar<br>Pf  | さすらう若人の歌 (マーラー)<br>ピアノ協奏曲 第3番 二短調 作品30 (ラフマニノフ)                   |
| 第11回 11月10日(木)<br>指揮：山下一史 | 戸村 愛美<br>木本 秀太 | Sax<br>Pf  | サクソフォーン協奏曲 (トマジ)<br>ピアノ協奏曲 第3番 二短調 作品30 (ラフマニノフ)                  |
| 第12回 11月17日(木)<br>指揮：山下一史 | 倉澤 唯子<br>小林 壱成 | Ob<br>Vn   | オーボエ協奏曲 イ短調 (ヴォーン＝ウィリアムズ)<br>ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 作品77 (ショスタコーヴィチ)   |
| 第13回 2月16日(木)<br>指揮：高関 健  | 藤原 秀章<br>蓑田 莉奈 | Vc<br>Pf   | チェロ協奏曲 (ウォルトン)<br>ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 作品16 (プロコフィエフ)                   |

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。



© 佐藤雅英

### ◆高関 健 Ken TAKASEKI (第1回・第6回・第7回・第13回)

桐朋学園大学卒業。1977年カラヤン指揮者コンクール・ジャパンで優勝。ベルリンフィル・オーケストラアカデミーに留学後、カラヤンのアシスタントを務め、タングルウッド音楽祭でもバーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けた。83年ニコライ・マルコ記念国際指揮者コンクール第2位、84年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝。翌年、日本フィル定期演奏会で日本デビュー。これまで海外ではウィーン響、ベルリン・ドイツ響、ケルン放送響、オスロ・フィル、ベルゲン・フィル、プラハ放送響等を指揮。また2013年2月にはサンクト・ペテルブルグ・フィルに招かれ定期公演を指揮、好評を得た。広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督、札幌交響楽団正指揮者等を歴任。現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、東京藝術大学音楽学部指揮科教授。

### ◆現田茂夫 Shigeo GENDA (第2回)

東京音楽大学作曲指揮専攻で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。2009年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。国内外の主要オーケストラ、ソリストとも数多く共演しており、故ロストロポヴィチと皇后陛下の古希祝賀コンサート等では特に高評を得た。オペラ指揮者としても経験豊かで二期会他、錦織健プロデュースオペラの音楽監督で2年ごとに全国公演。アンサンブル金沢と金沢歌劇座・兵庫県立芸術文化センター他(5都市6公演)で“椿姫”。市川右近演出“夕鶴”の全国公演も行い高評を得ている。また、アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールの審査員や、NHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティにとんだ活動を行なっている。



© 三浦興一



© Daikan Usui

### ◆澤 和樹 Kazuki SAWA (第3回)

1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニャフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。80年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジョージ・パウク、ベラ・カトーナ両氏に師事。84年に東京藝大に迎えられとともに本格的な演奏活動を開始。89年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤ワルテットの結成を決意する。96より指揮活動を開始。九州交響楽団、東京フィル、日本フィル、札幌交響楽団、紀尾井シンフォニーエッタ等にも客演し、好評を博す。2004年、和歌山県文化賞受賞。現在、英国王立音楽院名誉教授。洗足学園音楽大学客員教授。大阪音楽大学客員教授。16年4月より東京藝術大学学長。

### ◆迫 昭嘉 Akiyoshi SAKO (第4回・第9回)

東京藝術大学大学院音楽研究科にてクロイツァー賞。ミュンヘン音楽大学マイスタークラス修了。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、民音コンクール室内楽部門優勝、ハエン国際ピアノコンクール優勝。ABC国際音楽賞受賞。ピアニストとして国内外で活動する一方、指揮者としては1999年に九州交響楽団にデビュー。その後も札幌響、群馬響、新日フィル、東京シティフィル、都響、神奈川フィル、名古屋フィル、京都市響、日本センチュリー響、関西フィル等を指揮して高く評価されるなど、この分野での動向にも注目が集まっている。現在、東京藝術大学音楽学部教授、東京音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授。



© 三浦興一

### ◆山下一史 Kazufumi YAMASHITA (第5回・第11回・第12回)

桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。85年12月からカラヤンのアシスタントを務め、ベルリン・フィル演奏会で急病のカラヤンの代役としてジーンズ姿のまま「第九」を指揮し話題となる。以降、ヘルシンボリ響首席客演指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、2008年4月より同団名誉指揮者、06年から09年まで仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者、09年4月から12年3月までは同団正指揮者を務める。09年4月にはサンクトペテルブルク交響楽団定期に出演し、大成功を収めた。また、11年2月にはシューマン「ゲノフェーア」日本舞台初演や、13年1月には水野修孝の歌劇「天守物語」を行うなど、現在、オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。16年4月よりニューフィルハーモニーオーケストラ千葉音楽監督。東京藝術大学音楽学部指揮科招聘教授。

### ◆湯浅卓雄 Takuo YUASA (第8回)

高校卒業と同時にアメリカに留学。シンシナティ大学音楽院作曲理論科を経て、ウィーン国立音楽大学指揮科卒業。群馬交響楽団指揮者、BBCスコットランド交響楽団首席客演指揮者、アルスター管弦楽団首席客演指揮者を歴任。これまでにロンドン・フィル、フランス国立管、オスロ・フィル、ワルシャワ・フィル、アイルランド国立響、ブリュッセル・フィル、ベルリン響、ラハティ響、シドニー響、ニュージールランド響、香港フィルなど世界のオーケストラを指揮。日本国内でも各主要オーケストラと共演。また、EMI, BBC, ABC, NAXOS等のレーベルから多数のCDがリリースされ、高い評価を得ている。2007年「井植文化賞」、08年国際ソロブチミスト「千嘉代子賞」現在、東京藝術大学、演奏芸術センター教授。



### ◆梅田俊明 Toshiaki UMEDA (第10回)

桐朋学園大学卒業、同研究科修了。ウィーン国立音楽大学に留学。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、ジャン・フルネ、オトマール・スイトナー各氏に師事。日本センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の指揮者を歴任。2000～06年仙台フィルハーモニー常任指揮者に就任。01年及び04年仙台国際コンクールにおいてはすべての協奏曲を指揮し、出場者や聴衆をはじめ国内外の審査員から絶賛を博した。南西ドイツ・フィルハーモニーやスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に客演、現在はNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニーをはじめ国内主要オーケストラと共演を重ねている。桐朋学園大学、東京藝術大学音楽学部指揮科非常勤講師。



© 三浦興一

## ○モーニング・コンサートについて

東京藝術大学奏楽堂モーニング・コンサートは、作曲、ピアノ、オルガン、弦楽、管打楽の各専攻科から選抜された優秀な学生がソリストとして、あるいは作曲家として、藝大フィルハーモニア（東京藝術大学管弦楽研究部）と共演し質の高い充実した演奏を行うことにより、若手音楽家の養成に寄与してまいりました。

本学は、今後も音楽教育・研究のさらなる向上を目指しており、その一環として、これまで約40年以上続いてきたこの歴史ある学生達の研鑽の場を、より一層高度化し発展させて参りますので、今後も引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 藝大フィルハーモニア（東京藝術大学管弦楽研究部）

Geidai Philharmonia, Tokyo

藝大フィルハーモニアは東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラであり、オーケストラ演奏を専門とする演奏研究員によって組織されている。

主な活動としては、毎年春と秋に開かれる定期演奏会、声楽科との合唱付オーケストラ作品の演奏、オペラ研究部との共演、年度始めの新卒業生（各科最優秀者）紹介演奏がある。その他、年末には恒例のメサイア演奏会、第九公演などを行っており、さらに各地の音楽文化向上のための出張演奏も行っている。

教育面では、器楽科、声楽学生との協奏曲等の共演および作曲科学生の作品演奏（モーニング・コンサート）、指揮科学生による演奏会・試験・演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。中でも1972年から開催されている、この「モーニング・コンサート」は、選抜される学生の質の高さ、オーケストラとの十分な練習時間の設定など、非常に高度な水準を維持しており世界にも類を見ない企画となっている。

このオーケストラの前身である旧東京音楽学校管弦楽団は、わが国初めての本格的なオーケストラであり、現在ではポピュラーに演奏されているベートーヴェン作曲「交響曲第5番『運命』」「交響曲第9番『合唱付き』」、チャイコフスキー作曲「交響曲第6番『悲愴』」などを本邦初演し、日本の音楽界の礎石としての活動を果たしてきた。長らく管弦楽研究部（藝大オケ）の名で呼ばれてきたが、学内中心の演奏活動から、より幅広く活動の場を拡げ皆様に親しんでいただくために、1980年代にカナダから来日していた指揮者ビクター・フェルドブリル氏によって「藝大フィルハーモニア」と命名された。



### 【交通案内】

- JR上野駅（公園口）・JR鶯谷駅（南口）  
東京メトロ千代田線根津駅より 徒歩10分
- 京成線上野駅  
東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より 徒歩15分
- 台東区循環バス「東西めぐりん」  
② 上野駅・上野公園から（東京芸術大学経由）  
⑤ 東京芸術大学 下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください  
所在地：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8